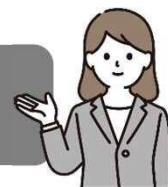




意見交換会の開催結果について



令和7年10月14日、18日、19日に本地丘小・森孝東小・森孝西小及び森孝中の保護者の方、未就学児の保護者の方及び地域の方を対象とした「本地丘小学校・森孝東小学校・森孝西小学校の統合及び森孝中学校との併設(案)に関する意見交換会」を開催し、延べ101名の方にご参加をいただきました。

意見交換会でいただいたご意見等のうち、意見交換会説明資料で触れられていないことに対する教育委員会の考え方をまとめました。より詳しい内容は市公式ウェブサイトをご覧ください。なお、ご意見等について、内容をまとめさせていただき作成しています。

本地丘小・森孝東小・森孝西小における取り組みのウェブサイト

(意見交換会説明資料や、ご意見に対する考え方の詳細を掲載しています。)

<https://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/11-10-5-5-4-5-0-0-0-0.html>

右の二次元コード、または市公式ウェブサイトのサイト内検索で

森孝 取り組み

検索



※下記①～⑦の項目は、意見交換会説明資料の項目と関連付けていますので、説明資料と併せてご覧ください。

① なぜ3小学校を統合するの? について

学校づくりだけを先行するのではなく、人口が増えるようなまちづくりの展望を併せて教えてください。本地丘学区は、市営住宅がほとんどを占める地域ですが、住宅政策をしてほしいなどの働きかけは行われたのでしょうか。

まちづくりについては、現時点でこの地域に関する個別の具体的な計画はありませんが、関係部署とは情報提供をしながら進めています。また、現時点で本地荘の更新等の具体的な計画はなく検討段階であると聞いています。併せて、市営住宅の更新等に学校の有無は影響しないものと聞いています。教育委員会としても、関係部署に対し、市営住宅を更新していただくよう要望しているところです。

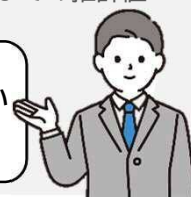
6～15年後の推計について具体的に教えてください。また、高齢者の方と子育て世代との入れ替わりも含めて推計されているのでしょうか。

○森孝中ブロックの将来推計

	R7	R10	R13	R14	R16	R19	R22
本地丘小	82人	52人	33人	34人	36人	37人	38人
森孝東小	158人	152人	149人	149人	149人	154人	158人
森孝西小	211人	200人	196人	200人	208人	215人	220人
3校計	451人	404人	378人	383人	393人	406人	416人

※児童数はR2年の国勢調査の結果を基にしているため、R13までの推計値との誤差があります。

中長期的な将来推計としては、令和2年度の国勢調査の結果を基に、生存率、出生率、移動率等を加味して、将来児童数を計算しています。推計上、6～15年後の児童数はほぼ横ばいの傾向であり、3小学校とも依然として適正規模にはならず小規模化の傾向が継続していることを踏まえて、統合の対象校であると考えています。



② どの場所で3小学校を統合するのがいいの? について

通学距離の目安の2kmについての根拠が全く示されていません。それが決められた頃と比べ、日本の気象がどれだけ変わったのかについて、どのくらい考慮されたのですか。

国では、学校を適正規模にするための統合における通学距離の基準として、概ね小学校が4km、中学校が6kmと規定されていますが、本市では概ね小学校が2km、中学校が3kmを目安としています。市全体でも同様に2km近く又は2kmを超えて歩いている子どもがいる学校もあります。しかし当然ながら、統合前と比べると通学距離が伸びることもあり、また、昨今の気象状況によって猛暑日を記録する日が増えている中、安心して通学していただけるよう、他校で行っている対策や他都市の状況等も参考にしながら検討していきます。



③ 森孝中の場所で小学校を統合するなら、森孝中はどうなるの? について

森孝中の場所で3小学校と中学校を一緒にした場合には、運動場の国の基準面積等は満たしているとの回答だったにもかかわらず、中学校だけを森孝東小の場所で運営するには、森孝東小の場所が狭いとの説明なのは、なぜですか。

中学校の教育活動において、体育の授業や体育祭等をできるだけ現在と同様に行うためには、運動場の200mトラックや100mコースの確保、格技施設などの確保が必要であると考えています。イメージ図にありますように森孝中の敷地では確保が可能ですが、森孝東小の敷地では、200mトラックや100mコースの確保が難しいことに加え、格技施設などを新たに必要とするため、十分な面積を確保できないと考えています。

④ 小中併設になると、どんな課題や利点があるの？ について



小学校では給食の時間などに音楽を流していて、そのような活動が小学校らしいと思います。中学生と一緒にした場合に、音楽がうるさいとか、小学生が静かに過ごすような指導となっていくことがないように、分け方を考えてもらいたいです。

笹島小中学校をはじめ小中学校が同じ敷地内で生活している例も研究させていただき、子どもたちの楽しみがなくならないよう検討します。



⑤ 新しい学校のイメージは？ について

イメージ図を見ると、遊具がありません。観察池もないので、虫の観察をはじめとした生活科の授業を行う場所が見当たらず、小学生が通いたいと思わない無機質な学校に見えます。小学校らしさと中学校らしさをもう少し描いていただけるとよいと思います。

実際には、小学校低学年の授業の内容として、ぶら下がる運動、体を支える運動、体を回転させる運動などがありますので、必要な遊具は配置していきます。イメージ図への反映については、ご意見として承ります。観察池は必ず設置するべきものではないので、学校と相談して検討していくものとなります。また、教材園は小学校低学年の生活科や高学年の理科などで使うために必要なものですので、この敷地の中に配置していく予定です。

⑥ 通学の安全はどう考えているの？ について



現在登下校で使用している森孝中学校の北側通用門の周辺は、歩道も狭く歩行者や自転車の通行量も多いので、危険だと思います。

通学路は、最終的に学校が決めるものですが、例えば、香流川沿いの緑陰歩道を利用し、南門から登下校することも含め、道路・交通の状況や周辺環境なども踏まえて、子どもたちが安全に通学できるような通学路を検討していきたいと考えています。



⑦ 今後のスケジュールは？ について

工事期間中、森孝中の生徒だけでなく、本地丘小と森孝東小の児童も森孝東小の場所で一緒に生活するのは、規模的に難しいのでしょうか。

森孝中は現在9クラス、小学校は森孝東と本地丘を合わせて通常学級で7クラスとなり、今の森孝東小の校舎で小学校と中学校を収めることができません。仮に運動場に仮設校舎を作って、そこで生活する場合は、運動場の確保がさらに困難になります。

○ その他 について

小中併設になると500人近い給食が必要となると思いますが、小学校と中学校の昼食はどのような予定を考えていますか。

小学校は、現在と同じように自校調理での給食の提供を予定しています。そのために必要な設備を設置し、調理員も配置していきます。中学校は、現状はスクールランチを提供していますが、中学校の給食化については、統合決定後に、保護者の皆様や関連する方々にアンケート等によりご意見をいただきながら検討したいと考えています。

学校規模を大きくすることによって先生の業務がさらに忙しくなるのではないのでしょうか。

子どもの人数に関わらず、学校が担う仕事量としては変わりません。教員数が少ない学校では、一人で複数の仕事を兼ねて行う必要があります。そのため、教員一人当たりの負担は、適正規模の学校と比較すると、小規模校の方が大きい面があると考えています。一定の学校規模があり、一定数の教員がいれば、皆で協力・分担しながら学校運営を進めることができるため、子どもたちと向き合う時間を確保することに繋がっていくと考えています。

行政区や市政を越えた形での教育、通学区域の検討はできないのでしょうか。

小中学校の児童生徒を合わせると500人程度の規模になると想定しており、統合後も望ましい学校規模を維持できると考えています。そのため、今回の統合では近隣の行政区をまたぐような統合の検討は必要ないと考えています。なお、市町村ごとの考え方に基づき、運営予算や校舎整備、教職員の配置等が行われていることもあり、現時点で市外の学校との連携は想定していません。



統合(案)などについて、ご意見等ありましたら、下記までご連絡ください。

名古屋市教育委員会事務局教育環境整備課

電話:052-972-3282 FAX:052-972-4176 E-MAIL:a3282@kyoiku.city.nagoya.lg.jp